



永続的 SSID ブロードキャスト

- [永続的 SSID ブロードキャスト \(1 ページ\)](#)
- [永続的 SSID ブロードキャストの設定 \(1 ページ\)](#)
- [永続的 SSID ブロードキャストの確認 \(2 ページ\)](#)

永続的 SSID ブロードキャスト

メッシュ ネットワーク内のアクセス ポイントは、ルート アクセス ポイント (RAP) またはメッシュ アクセス ポイント (MAP) として動作します。RAP は組み込みワイヤレスコントローラへ有線で接続され、MAP は組み込みワイヤレスコントローラへ無線で接続されます。この機能は、Flex+ブリッジモードの Cisco Aironet 1542 アクセス ポイントにのみ適用されます。

この機能により、WAN 接続がダウンしている場合でも、ルート アクセス ポイント (RAP) とメッシュ アクセス ポイント (MAP) が SSID をブロードキャストします。このことは、障害の原因がバックホールにあるのかアクセスワイヤレスネットワークにあるのかにかかわらず、責任を分離するために必要です。なぜなら、ネットワークの各部分はさまざまな通信事業者が所有している可能性があるためです。

デフォルト ゲートウェイが到達可能である限り、RAP および MAP はスタンドアロン モード時は SSID をブロードキャストします。

[Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのメッシュ導入ガイド](#)も参照してください。

永続的 SSID ブロードキャストの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 :	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Device# configure terminal	
ステップ 2	ap profile <i>ap-profile-name</i> 例 : Device(config)# ap profile ap-profile-name	AP プロファイルを設定します。
ステップ 3	[no]ssid broadcast persistent 例 : Device(config-ap-profile)# [no] ssid broadcast persistent	ssid broadcast コマンドを実行すると、SSID ブロードキャストモードが設定されます。 persistent キーワードを指定すると、永続的 SSID ブロードキャストが有効になり、関連付けられた AP が再参加します。この機能を無効にするには、このコマンドの [no] 形式を使用します。 (注) この機能を有効または無効にすると、AP が再参加します。

永続的 SSID ブロードキャストの確認

すべてのシスコ AP の設定を表示するには、次の **show** コマンドを使用します。

```
Device#show ap config general
Cisco AP Name   : AP4C77.6DF2.D598
=====
Office Extend Mode           : Disabled
Persistent SSID Broadcast    : Enabled
Remote AP Debug              : Disabled
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。